

学校名	新座市立栗原小学校
実施日	令和2年1月25日

<記入の仕方>

○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、元気な学校をめざし、明るいあいさつと返事を継続的に指導し、成果を上げている。(独自)	B	全体としてはできているが、個人差、学年・学級差が大きい。自分から挨拶できない児童がおり、朝のあいさつがあまりできていない。教員の共通理解と指導が必要である。	B	・全体としてはよくできているが、個々で見えていくとできていない子もみられる。あいさつの質をあげていくとよい。 ・目が合う児童が増えてきたが、明るいあいさつができるようになるまでに継続した指導が必要である。
2	学校は、主体的に学ぶ児童をめざし、学び合いのある授業や習得が実感できる授業を行っている。(独自)	B	基本的には実施している。「主体的」「学び合い」など、共通理解を図り、教員同士が見合ったり授業の取り組みを情報交換できる場があるとよい。活動あつて学びなしとならないように、ねらいを明確にした学習を展開していく。	B	・教員同士が互いに授業を見合って、情報交換をしていくとよい。 ・主体的に学ぶ姿をどう評価していくかがこれからの課題である。 ・デジタル教科書の活用の仕方を見直し、ICTの活用のスキルアップを図ってほしい。
3	学校は、清掃指導や掲示教育をとおして、学ぶ意欲が湧くきれいな教室環境を整備している。(独自)	B	黙々清掃が徹底できておらず、意義が理解されていない。縦割り清掃が効果的だったので、定期的に実施していく。掲示環境は改善し、全職員で整備する意識も向上した。継続していきたい。	A	・掲示については、さらに明るくなり、環境が整っている。毎回掲示がわかり、来校するのが楽しみにしている。 ・清掃は全体としてはできている。自分の担当箇所のみならず全体をきれいにすると気持ちをもってほしい。清掃の目的を指導し、きれいにするという心をもってほしい。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	担当者が責任をもって職務を遂行し、組織的に活動できている。各部署で役割分担する体制も整いつつある。主任が異動になっても活動が滞らないよう、共通理解を図っていく。	B	・引き続き職員間の連携を図りながら進めてほしい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	学校運営協議会でよい評価いただいた点を継続し、改善点については学校経営に活かしている。今後も継続していく。	B	・振り返りを生かし、共通理解を図りながら進めてほしい。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	各マニュアルの見直しは図られている。迅速に対応できるよう具体的なものを作成していく。	B	・周知をしない避難訓練の実施など、工夫している。非常災害時、不審者対応など、臨機応変に対応できるよう指導を継続してほしい。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	学習ルールは児童に定着し、授業もきまりに基づいて授業を展開している。栗小のきまりについて、児童の主体性を意識したルールとなるよう、今後見直ししていく。	B	・栗原小は定着している。引き続き児童の主体性を意識した授業をしてほしい。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	特別活動の研究成果により、言語活動は充実してきた。個の思考が高まるような指導を学んでいく必要がある。	B	・教職員はよく努力している。思考力をさらに向上させてほしい。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力・能力に即した学習指導を行っている。	B	新学習指導要領を意識し、教材研究に熱心に取り組みながら授業を展開している。主体的に学ぶ個の育成を意識してさらに指導の工夫改善に努めたい。	B	・来年度から実施の新学習指導要領をしっかり理解し、指導の工夫改善を図ってほしい。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	英会話を楽しむ授業が展開されている。教育支援課訪問でご指導いただく機会があり、授業のあり方を考えるきっかけとなった。英会話講師に頼りすぎず、担任が主導で進められるように研修の機会を増やせるとよい。	A	・英語カルタに楽しく取り組んだり文字を丁寧に書いたりする様子が見られた。引き続き、児童が楽しく取り組める授業を展開してほしい。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果をあげている。	B	あいさつは基本的によくできるが、自らできる児童が少ない。また、授業中は、「です、ます」をつけて発言できていない児童も多い。職員全体で課題として捉え、意識して指導していく。	A	・高学年での授業における言葉遣いが立派である。学年の発達段階に応じ指導を継続してほしい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	毎月のアンケート等で実態を把握し、いじめの早期発見、早期解決に努めている。問題行動に対しては複数職員で対応している。道徳の学習を充実させ、豊かな心の育成に努めたい。	A	・教師がいじめの実態を把握し対応している。いじめの根絶について学校から家庭へも発信し、共通理解を図りながら環境整備してほしい。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	A	教職員同士がコミュニケーションを図り、共通理解を図りながら指導している。「栗っ子の誇り」を更に意識して、児童に手本を示せるようにしていく。	A	・教職員の規範意識が高まった様子がみられる。引き続き手本を示してほしい。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	体育を中心とした学校研究に取り組んでおり、体力向上の環境作りを推進している。体育の授業をきっかけに日常の遊びにつながるような工夫をする必要がある。	A	・なわとびが跳べるようになったり、持久走大会に向けてタイムを意識して取り組んだりしている様子が見られる。 ・体力テストの数値も向上している。引き続き体力向上を意識して研究を進めてほしい。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	給食便りが充実している。給食委員会によるフードロスの取り組みなど食に関する意識を高めることができた。健康と栄養の観点からの取り組みも実施していきたい。	A	・フードロス削減キャンペーンに取り組んだり、メニューのレパートリーが豊富だったり食への意識を高めている。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	A	学校運営協議会、PTAや応援団、保護者、地域が大変協力的で、連携が図れている。懇談会の出席率が大変低く、共通理解が図りにくいのが課題である。	A	・保護者の懇談会への参加率をあげるための努力をしている。今後、在り方について検討してほしい。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	教育活動の様子を校内掲示やHPで発信できている。学校便りや学年便りに教育活動をなるべく多く掲載するようにしている。常に見直ししながら進めたい。	A	・ホームページが充実している。継続してほしい。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	PTAや応援団が児童のために積極的に活動してくださっている。保護者や地域との協力体制は良好で、取り組みが拡大した。同じ保護者に頼っている状況を改善し、参加者を増やしたい。	A	・学校応援団活動がさらに充実した。市民清掃や落ち葉拾いなど、地域との連携も増えた。継続してほしい。